

令和7年度岡山県総合教育センター受講者輸送用バス運行業務仕様書

1 委託業務の名称

岡山県総合教育センター受講者輸送用バス運行業務

2 委託業務の目的

岡山駅と岡山県総合教育センター（以下「センター」という。）間でチャーター便送迎バス（以下「車両」という。）を運行し、センターの研修受講者の交通アクセスを確保する。

3 委託業務内容

(1) 運行業務

センターで研修を実施する日（以下「研修日」という。）に岡山駅とセンター間で指定した時刻等の運行条件を遵守して車両を運行し、センター研修受講者等を安全かつ確実に輸送する。

(2) 運行車両の仕様等

大型車（大型バス）

小型車（小型バス）

※「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について（平成12年1月5日付け中国運輸局公示第3号）」別紙2「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の標準適用方法」第1車種区分に規定する上記車両各1台以上を自己の責任において用意し、かつ、運行業務を実施できること。

(3) 運行ルート

岡山駅とセンター間で最も効率的なルートとし、受託者の提案とする。

ただし、入札単価を積算する上での走行キロ及び走行時間は、次の走行キロ及び走行時間を用いて積算すること。

運行ルートの走行キロ：35km（片道）

運行ルートの走行時間：70分（片道）

(4) 乗降場所

センターについては、構内に乗り入れし、メインエントランス前とする。

岡山駅については、運動公園口（西口）を利用し、JR西日本及び道路管理者並びに警察関係者の必要な承諾、許認可等を得ること。

(5) 運行時刻（1日につき1往復（＝2便））

朝便：岡山駅 8：00発 → センター 9：10着（研修開始 9:30）

夕便：センター 16：15発 → 岡山駅 17：25着（研修終了16:00）

なお、研修の実施状況により上記時間を変更する場合がある。

(6) 運行予定日数 10日以内

(7) 運行予定便数

大型車 2便

小型車 10便

※過去の運行実績による運行予定便数であり、予定便数分の運行を保証するものではない。予定便数の変更に伴い異議を申し立てないこと。

(8) 運行及び使用車両

車両の運行については、センターで事前に利用希望を研修受講者から徴し、利用希望者が9人以上の場合にバス運行を行う。

運行車両はセンターが指示する車両で運行すること。（故障など受託者の都合により、センターが指示する車両での運行ができない場合は、代替車両（複数車両可）による運行も可能であるが、当該経費は受託者の負担とする。）

なお、利用希望者が8人以下の場合は、原則バス運行はしない。

また、状況により、朝便のみあるいは夕便のみの運行もあること。

運行を行う場合は、運行車両、利用希望者数、利用希望者氏名等を、原則として、講座実施日の4日前（土・日・祝日の場合は、その翌日）までにセンターから受託者へ連絡する。

(9) 表示

受託者は、車両の前面及びその他の面の見やすい場所に「岡山県総合教育センター行き」であることが分かる表示を行うこと。表示は、離れていても容易に確認可能なものであること。

(10) 点呼及び当日の利用者の対応

朝便については、センターから事前に送付するチャーター便利用者名簿により、乗車時に利用希望者の確認を行うこと。また、利用者希望者が当日朝の欠席又は出発時刻に遅れそうな場合、7時50分までに受託者へ電話連絡をするため、ドライバーと連絡が取れる体制を整えること。

利用希望者から遅刻の連絡があった場合は、8時10分まで待つ旨を受託者が伝えること。ドライバーは時刻まで、その場で待機をし、人数がそろわなかった場合でも出発すること。

なお、当日朝に利用希望者から電話連絡があった場合、センターへの連絡は不要である(11)のセンターの確認を受ける際に連絡すること。

(11) 運行記録表

車両を運行する毎に、運行記録表(運行日時、運行車両、利用者数等)を書面により作成し、センターの確認を受けるものとする。

(12) 事故発生時の対応

交通事故その他緊急事態が発生した場合に備え、体制を整備しておくこと。

車両には携帯電話を携帯し、交通事故その他緊急事態が発生したときは、直ちに適切な措置を講ずるとともに、センターに通報すること。

また、交通渋滞等により規定どおりの運行が困難となった場合は、センターに連絡し、適切な指示を受けるものとする。

(13) 損害賠償

事故に備え、対人、対物及び搭乗者に対する賠償が行えるよう付保するなどの体制をとること。

(14) 臨時便の対応

前記(5)及び(6)以外の日及び時刻において別に臨時便の運行が必要な場合、別途センターと受託者で協議を行い、受託者は臨時便の運行についても対応すること。

(15) 運行前の事前打合せ

受託者は、契約締結後、実際の運行が始まるまでに、センターと運行内容について打合せを行うものとする。

(16) その他委託業務の範囲

- ・車両運行に必要な許認可(一般貸切旅客自動車運送事業)を受けること。
- ・運行車両の整備及び法定検査の受検。
- ・乗務員の管理、指導及び教育。
- ・運行車両の故障又は事故で運行できない場合の代替車両等の手配。
- ・その他運行に必要な事務。

4 委託期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
ただし、運行はセンター研修日に限る。

5 経費負担

本仕様書に示す業務に係る経費のほか、契約履行に要する一切の諸経費は受託者の負担とする。

6 支払方法

受託者は、毎月の業務終了後に、当該月分の運行記録表を添えて、書面で請求するものとする。

7 その他

受託者は、道路運送法、道路交通法その他関係法令を遵守すること。

